

# 向井潤吉

## 語り合いの時間



《花背の家》[京都府京都市左京区花背] 1967(昭和42)年頃

世田谷美術館分館

### 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581

[www.mukaijunkichi-annex.jp/](http://www.mukaijunkichi-annex.jp/)

交通案内 = 東急田園都市線「駒沢大学」駅 西口徒歩10分 / 東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分 / 東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分 / 東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(渋11)渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分 / 東急バス(渋12)渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

## 2012年8月7日(火)～12月2日(日)

開館時間 = 10:00～18:00(入館は17:30まで) 休館日 = 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌日休館)

観覧料 = 一般200(160)円、大高生150(120)円、中小生100(80)円、65歳以上及び障害者の方100(80)円

\* ( )内は20名以上の団体料金。小・中学生は土、日、祝・休日及び夏休み期間は無料。

\* 障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

# 向井潤吉 語らいの時間

「私は民家の卓抜した、  
そして地方色豊かな形の面白さに魅せられて、  
それを追跡するように描いてきた」



《集落》[山形県東田川郡朝日村田俣保] 1966(昭和41)年



《不詳(田植え)》制作年不詳

終戦後、画家たちはそれぞれに自らの道を模索し、向井潤吉(1901-1995)は「日本の民家」をモチーフに選び、独自の道を踏み出し、拓いてきました。

若き日に渡仏し、ルーヴル美術館での古典名画の模写を通じて、西洋美術の真髄を学び、さらにパリの美術学校で毎晩のようにクロッキーの紙数を重ねた経験は、向井作品の写実表現の充実を深めました。

「家だけに力点をおくと、何か設計図みたいな窮屈さと味気ない説明になりやすいので、むしろ家を大切にしながらも、その家を取り囲む風土風景を主とするようになってきた」と、向井は「民家に美を求めて」というエッセイに記しています。

民家のある風景へのこだわりから、人物描写は非常に少なくなりますが、点景としてさりげなく描かれた人物や、物干しにかかる洗濯物などが、人びとの生活や息づかいを強く感じさせてくれます。こうした向井の画家としての妙味ある構成力は、画面に自然の雄大さと奥行きをもたらし、さらに作品全体を引き締める役割を果たしているようです。そしてそこには、向井自身が風景と語り合った時間が寄り添っているように思えます。

各地の風土にいだかれた民家の姿に向き合い、皆様がそれぞれに向井潤吉が現場で感じとった感慨に想いを巡らせ、ひとつひとつの作品と語らいの時間を楽しんでいただければと思います。



向井潤吉が収集したこけし。宮城県白石市で開かれるこけしコンクルの審査委員をつとめた。



《冬ざれ》[愛知県豊川市御油町] 1950(昭和25)年頃



《生活の河》[千葉県浦安市] 1954(昭和29)年頃



旅先で制作する向井潤吉

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581  
www.mukaijunkichi-annex.jp/

交通 = 東急田園都市線「駒沢大学」駅 西口徒歩10分 / 東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分 / 東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分 / 東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(渋11)渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分 / 東急バス(渋12)渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分



© 宮本和義

## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL:03-3415-6011(代)  
ハローダイヤル 03-5777-8600  
www.setagayaartmuseum.or.jp/  
\* 詳細はホームページなどでご確認ください。

### 企画展

すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙 7月14日(土)～9月2日(日)  
世田谷美術館コレクションによる現代美術展 対話する時間 9月15日(土)～11月11日(日)  
生誕100年 松本竣介展 11月23日(金・祝)～2013年1月14日(月・祝)  
ミュージアム コレクション II  
花森安治と『暮しの手帖』 6月30日(土)～9月2日(日)



## 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL:03-3416-1202 www.kiyokawataiji-annex.jp/  
清川泰次のアトリエ II  
8月7日(火)～12月2日(日)



© 宮本和義

## 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL:03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/  
宮本三郎クロニクル1922⇒1974—最初期作品から絶筆まで  
8月7日(火)～12月2日(日)



© 宮本和義